

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

記入日 2010年1月15日

1. 概要

実践団体名	あそび ma・senka		
連絡先	事務局電話：019(626)1181 代表者携帯電話：080-5220-6396		
プランタイトル	プロジェクト G ～ ママの安心防災体策 ～		
プランの対象者	19、その他 (妊婦～乳幼児の家庭)	対象とする 災害種別	1、地震

【プランの目的・ここがポイント！】

地域活動への参加の機会が少なく災害時に孤立する可能性がある「妊婦～乳幼児の家庭」の防災意識と減災への取り組み状況の調査、および、地域における支援の実態を把握することで、問題点を整理し、ニーズに即した情報の提供や教育内容の立案、実施を行う。

【プランの概要】

- 1、災害の理解：実施メンバー間での、防災の知識と対象に特化した被災事例などの理解
- 2、行政・保育施設などの防災体策の把握
- 3、対象者の防災意識と取り組みの現状の把握：妊婦～乳幼児の家庭へのアンケート調査
- 4、防災意識向上への取り組み：「ママも安心防災サロン」
 - ・ ミニ講座：地震防災への知識の普及と乳幼児の被災における救命実技
 - ・ パネル展示：対象に特化した被災事例と被害予測・減災にむけた知識普及
 - ・ 我が家の防災手帳作成：家庭・家族の状況に応じ必要な様式のカードを選択し作成

【期待される効果・ここがおすすめ！】

- ・ 無駄や手間や楽観から、防災とは疎遠だった親子でも、遊びや食を楽しみながら、自然な形で防災への知識を得ることで、自らの防災を振り返り意識向上につながる事を期待する。
- ・ 「自分たちに何が必要？」が解る事で、家庭での取り組みの方向付けになる。

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

2. プランの年間活動記録

	プランの 立案と調整	準備活動	実践活動
2008年 6月	プレゼン後の 改善項目見直し	<ul style="list-style-type: none"> 資料集め 情報検索 	<ul style="list-style-type: none"> インターネット利用による連絡 会議（随時開催）
2008年 7月		<ul style="list-style-type: none"> アンケート作成 	
2008年 8月		<ul style="list-style-type: none"> アンケート協力 依頼 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ学習会
2008年 9月			<ul style="list-style-type: none"> アンケート実施
2008年 10月			<ul style="list-style-type: none"> アンケート回収および集計作業
2008年 11月	中間報告による 改善項目の見直し		<ul style="list-style-type: none"> スタッフ学習会
2008年 12月		<ul style="list-style-type: none"> 「ママも安心防災 サロン」計画 教材・パネル作成 	
2009年 1月		↓	<ul style="list-style-type: none"> 「ママも安心防災サロン」実施 まとめ

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

3. 実践したプランの内容と成果

【実践プログラム①】

タイトル	子育て世帯の防災に関する調査
実施月日（曜日）	2009年9月
実施場所	盛岡市・気仙地域
担当者または講師	保育園・保健所・社会福祉協議会の協力により実施
所要時間または 「コマ数×単位時間」	
プログラムの カテゴリ、形式	12、研究
活動目的	10、その他 (防災に関する意識と取り組み状況の把握)
達成目標	対象者の状況を把握し、適切な援助につなげることが出来る
実践方法・進め方 (箇条書き、または フロー)	1、アンケート作成 2、アンケート協力依頼 3、回収および集計 4、分析 5、結果報告
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	
参加人数	
経費の総額・内訳概要	コピー用紙・封筒・返信用切手・プリンターインクなど
成果と課題	【成果】対象者の現状を把握する事ができた 【課題】アンケートの記入を期に、防災の必要性を感じた世帯が多かったが、楽観している家庭も多いように思われた。
成果物	アンケートまとめ資料集

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

【実践プログラム②】

タイトル	スタッフ学習会
実施月日（曜日）	2009年8月・11月
実施場所	県民活動交流センター アイーナ
担当者または講師	メンバー相互
所要時間または「コマ数×単位時間」	2時間半×2回
プログラムのカテゴリ、形式	2、講習会・学習会・ワークショップ
活動目的	8、防災に関する知識を深める
達成目標	知識や情報の共有をし、プランの遂行に生かすことが出来る
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間報告会参加・改善項目の報告 他の取り組み団体実践報告など ・ 各自の情報収集、文献検索などの持ち寄りでの知識の共有
準備、使用したもの ・ 人材 ・ 道具、材料等	
参加人数	8月：5名 12月：4名
経費の総額・内訳概要	なし
成果と課題	<p>【成果】プランの修正やアンケートによる新たな課題の解決に向けて、知識と情報を共有しプランの変更につなげることができた。</p> <p>【課題】特になし</p>
成果物	

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

【実践プログラム③】

タイトル	ママも安心防災サロンーミニ講座
実施月日（曜日）	2010年1月30日 予定
実施場所	ふれあいランド岩手 ふれあいホール
担当者または講師	1、地震の知識と防災：盛岡地方気象台講師 2、「子どもをまもる！」：盛岡南消防署講師
所要時間または「コマ数×単位時間」	1：50分 2：60分
プログラムのカテゴリ、形式	2、講習会・学習会・ワークショップ
活動目的	6、防災に関する知識を深める
達成目標	正しい知識を学ぶことで防災への取り組みにつなげることが出来る
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	1月30日 開催にて詳細は配布資料にて報告予定
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	
参加人数	
経費の総額・内訳概要	
成果と課題	【成果】 【課題】
成果物	

防 災 教 育 チ ャ レ ン ジ フ ラ ン 最 終 報 告 書

【実践プログラム④】

タイトル	ママも安心防災サロンー手作りおもちゃ・防災手帳作成
実施月日（曜日）	2010年1月30日 予定
実施場所	ふれあいランド岩手 ふれあいホール
担当者または講師	グットトイ委員会 おもちゃコンサルタントマスター 他
所要時間または「コマ数×単位時間」	13:00～17:00 予定
プログラムのカテゴリ、形式	13、体験学習
活動目的	1、遊び・楽しみながらの防災
達成目標	体験を通して学びを深める事ができる
実践方法・進め方（箇条書き、またはフロー）	<p>☆災害備蓄品で手作りおもちゃの作成</p> <p>☆各世帯の状況や取り組みに応じた防災手帳作成</p> <p>1月30日 開催にて詳細は配布資料にて報告予定</p>
準備、使用したもの ・人材 ・道具、材料等	
参加人数	
経費の総額・内訳概要	
成果と課題	<p>【成果】</p> <p>【課題】</p>
成果物	

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

4. 苦勞した点・工夫した点

<p>プランの立案 と調整で 苦勞した点 工夫した点</p>	<p><苦勞した点> 防災に関する活動は始めてであり、手探りの状態でのプラン立案と申請だったため、1年間で完了できるプランがどの程度であるか想像がつきにくかった。</p> <p><工夫した点> 既存の活動で構築したネットワークから、防災関連の取り組みをしている方にアドバイスをお願いし、新たなネットワークの紹介をいただいた。</p>
<p>準備活動で 苦勞した点 工夫した点</p>	<p><苦勞した点> 膨大な資料のなかから、必要なものを選別する事と選択の根拠を明確にする作業に時間を要した。</p> <p><工夫した点> 其々に多忙なメンバーの為、無駄なく必要な情報を伝えあうために、インターネットの掲示板機能をフル活用して作業を進めた。</p>
<p>実践に 当たって 苦勞した点 工夫した点</p>	<p><苦勞した点> 新型インフルエンザが流行し、風評に振り回されたり、終息の予測もできなかったため、対象とする妊婦～乳幼児の家庭へのアプローチや行政への聞き取り時期、集団での教育活動などが実現可能なものか？と混乱してしまった。</p> <p><工夫した点> 中間報告会でも指導があったとおり、インフルエンザも災害のひとつとして重要なものであるため、体策や現場で起こった事を見定め、実現可能な方法を見出しプランの修正を図った。</p>

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

5. 他の団体、地域との連携

協力・連携先の分類	団体名、組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・ 同窓会組織	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市南仙北保育園 ・盛岡市都南保育園 ・大船渡市大船渡保育園 ・岩手県立大学看護学部 母性看護学教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート実施協力 ・ アンケート作成および集計協力
保護者・ PTAの組織		
地域組織		・
国・地方公共団体・ 公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡地方気象台 ・盛岡南消防署 ・岩手県社会福祉協議会 ・大船渡市社会福祉協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニ講座講師 ・ 資料作成に関わる協力 ・ サロンの会場に関わる協力 ・ 講師選定に関わる協力 ・ アンケート実施協力
企業・ 産業関連の組合等		
ボランティア団体・ NPO法人・NGO 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県立大学風土熱人 R 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料作成に関わる協力
職業、職能団体・ 学術組織、学会等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県医師会 ・ 日本助産師会岩手県支部 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料作成に関わる協力

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

7. 成果と課題（実践したプラン全般について）

<p>成果として 得たこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ メンバーの防災意識の変容と家庭での減災への取り組み実施 ・ 対象者の防災意識と取り組みの現状、ニーズの把握 ・ 親子、家族で楽しみながら参加できる教育内容の検討と実施 ・ 防災関連の機関、活動団体とのネットワーク構築 ・ 助成団体としての信頼性
<p>全体の反省・ 感想・課題</p>	<p>防災教育に関して全くの初心者であり、進めば進むほど疑問がうまれ、方向性への迷いもあったが、中間発表などで実行委員の先生方から専門的なご指導やご意見をいただく事で、活動の修正や方向性をつける事ができた。</p> <p>公的な情報を得る場合や活動への協力に対し、助成団体として依頼する事で、理解と協力を得られやすい場面もあったが、自主事業として活動する場合、期待する協力が得られるかは疑問であり、同様の取り組みが進まない一因とも思われた。</p>
<p>今後の 継続予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パパ&ママクラスや乳児教室開催など、福祉系の助成金を活用し、子育てに必要な技術・有用な情報発信と共に防災教育を行う事で、防災に無関心なママが問題意識を持ちアクションをおこせる環境を築く。 ・ 親子を支援する側の意識向上と、減災・被災時に必要と思われる支援の計画作成をすすめる。

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

8. 自由記述欄 ①

2008年度防災教育チャレンジプラン協成事業



ママも安心 防災サロン

参加無料 

～ 被災時にパパが職場から離れられなくなった時でも、お子さんの安全を守れますか？ ～

日時: 1月30日(土)
13:00～17:00

※時間内はご自由に入室できますが、ミニ講座は各定員がございますので、事前の申し込みをお願いします。前日までにご講座を申し込んだ方には、cafeの飲食券をご用意いたします。

**会場: ふれあいランド岩手
ふれあいホール**

盛岡南宮本棟 8-1-3 TEL:0194-6371000
新科館主様がごさいますが、会談に限りがございます。

パパ・ママだけでなく、ご家族の皆さんや保育施設の方など、関心のある方はどなたでも参加いただけます♪



ミニ講座

- 1. 「地震の知識と防災」**
14:00～14:50
盛岡地方気象台講師
- 2. 「子どもをまもる！」**
15:00～16:00
盛岡南消防署講師

「知りたかった」
本当のところ
「知っていてほしい」
大切なこと

マタニティママやお子様の被災事例や被害予測を知り本当に家庭に必要な防災を考えてみましょう♪

防災cafe

備蓄食品＝「カンパン」ですか？
気にはなっていないでも、お日にかかることの無かった
パンの缶詰 と アルファ米
の試食を100食準備いたします。
※お持ち帰りは出来ませんのでご了承ください。

内容の詳細は裏面にてご確認ください。

★入場時に受付で各一人「自分のcafeチケットを回収致します。《お手持ちは、1歳以上で1枚配布》
★cafeの試食のみのお事前予約は受付できません。
★お手持ちと一緒にお持ちいただけますが、試食の準備はございません。
★ベビーカーにて入場可能ですが、定員時には、限定の駐車スペースをご利用いただく場合もございます。
おんぶ、抱っこなどが定員を超えてご準備ください。
★感染予防に際して、ふれあいランド内に消毒液を準備しておりますが、マスク着用など各自でご留意をお願いします。

<お問合せ・事前予約先>

あそび ma・senka
盛岡市中央橋2丁目7-43 エントシハウス101
TEL & FAX: 0194-6291181
※月曜日のぞ平日の13時～17時にて対応させていただきます。



防災教育チャレンジプラン 最終報告書

8. 自由記述欄 ②

あそびma・senkaは、子育て・子育てを支援する職業にあるメンバーが、特技やネットワークを活かし「親子のコミュニケーションを促進」する活動や、「いのちを支えはぐくむ」活動を行っているグループです。
 活動を通して、沢山のマタニティママや小さなお子さんのいるママにお目にかかっておりますが、2007年の福井・富良野地震を期に、不安の声があがっていても、直さず消えていた「マタニティママと乳幼児の家庭の防災」を考える取り組みを始めました。今年度は、防災教育チャレンジプラン2009の催事団体として「プロジェクト@ママの安心防災対策」を実施しておりますが、地震災害について、過去の被災事例を調べたり、専門の先生の話をうかがうにつれ、情報の偏りと過剰な本願で解釈していた事を反省しました。家が倒壊するほどの災害は無いかもしれませんが、地震がもとで火災になったり、家具の下敷きになったり、御電で断たれたりすることはあります。しかもそれは、防災についての正しい知識と備えがあれば防げる被害なのです。

「知っている事で守れるいのち」今日をきっかけに、一緒に考えてみませんか？

1. 地震の基礎知識

2. おとなの防災

盛岡市・気仙郡にお住まいのマタニティママ、乳幼児のママにご協力いただいたアンケート結果から、ママの防災への取り組みの実際と課題をご紹介します。

3. 被災時の災害予測

マタニティママや子育て中のママ、お子さんが被災したら？

「おっぱいが出なくなるらしいよ」「胎動が減って本当？」「子どもの精神的なストレスサインは？」「赤ちゃんのお風呂は？」
 一般の人とは違った「気をつけるポイント」や「考え方のポイント」をご紹介します。

4. 過去の被災事例から「マタニティママや子育て中のママが困ったこと？」

「ライフラインの復旧まで困ったこと？」「避難所生活を選ばなかった賢い」「ペットはどうした？」「高層住民？」
 過去に起こった大地震の事例をもとに作成された書籍や報告書から、実際に困ったことやメディアでは紹介されなかったことをご紹介します。

5. 行政に頼れる事、自分でしておくべきこと

避難勧告が来ても「避難所へは行かず自宅で過ごし、食料や物資だけもらいに行こう」「行政には十分な備蓄があって、なんでもすぐに解決してくれて当然！」そう思う方も多そうです。しかし、避難所へ行く物資は、避難所内で生活している人数分の物資のみですから、指定の避難所外で生活し、物資だけもらいに行ってももらえない事もあるようです。

また、避難所で備蓄されている食品や生活物資は万人向けですから、女性に必要な生理用品や乳児用のミルク・オムツなどの物資が提供されるには時間を要します。ライフラインの途絶や各家庭でどんな被害が予測されるかがわかって備えていれば、いざと言うときに慌てなくて済みます。

6. 本当に必要な＆役立つ防災グッズって？

「手にとってみる時間が無い」「どこで売ってるかわからない」そんなグッズを集めてみました。生活に即した「無理なく無駄なく！」の知恵をご紹介します。

ミニ講座

会場内では、助産師によるマタニティ相談や胎児ちゃんの心音を聞けるコーナーも準備しております。先輩ママからお役立ち情報もゲットできる良い機会になるかと思っております。ご家族と一緒にご参加ください。

紙コップや紙皿がおもちゃに変身！

災害備蓄用品で出来る手作りおもちゃコーナー

講師：NPO法人日本グットイ委員会
おもちゃコンサルタントマスター

※事前申し込み無で参加いただけます

1. 「地震の知識と防災」

盛岡地方気象台の先生が、地震予測や防災についてお話をしてくださいます。自分の足元について、正しい知識を持って「我が家に本当に必要な備えはなにか？」一緒に考えてみませんか？

2. 「子どもをまもる！」

盛岡南消防署の隊員さんより、地震災害時の乳幼児の被災予測と対応、救急処置の方法をお話いただきます。日夜、盛岡市民の命を守る隊員さんから、専門の技術を学んでみませんか？(実技もありますので、参加ご希望の方は動きやすい服装でおこしください)



★あそびma・senkaのホームページ <http://www.ma-senka.net/baby-s/>
 ★防災教育チャレンジプラン <http://www.bousai-studies.net/sp/index.html>

防災教育チャレンジプラン 最終報告書

8. 自由記述欄 ③

「ママも安心防災サロン」で作成予定の防災手帳



様式：はがきサイズのカード（二つあな綴じ）

- ☆ バックやランドセルに入れてもかさばらないサイズ。
- ☆ 家庭や個人の状況で、必要なカードを増やして行く事ができる。（妊婦・乳児・幼児・大人の様式別）
- ☆ カードケースを綴じ込めば、診察券などもいれられる。
- ☆ ID用に家族の写真を使用し、親子や家族で会話しながら内容を考えられる。
- ☆ 低コストで作成可能。（100均でそろう材料）
- ☆ 写真の加工やプリントなど、作成が困難な家庭を想定し、サロンを定期開催し、カード作成を支援することが話題づくりになる（？）



災害備蓄用品で出来る手作りおもちゃ

左より、「くるくるコマ①」「くるくるコマ②」「ぼよんロケット」

- ☆ 紙皿・紙コップを使用。
- ☆ 短時間で手軽にできるが、「良くまわるコマ」「良く飛ぶロケット」には一工夫必要。
- ☆ 絵を描く事が癒しにつながる。
- ☆ 会話を楽しみながらつくれるおもちゃ。